## 簡易版ティーチングポートフォリオ(2023 年度)

食物栄養学科 助手 後藤 恵

### 1.教育の責任

# (1)専門教育科目

科目	開設学年	形態
アカデミックスキルズ入門	1 年前期	卒業、秘書士 必修
スタディスキルズ [	1 年前期	卒業、秘書士 必修
給食管理基礎実習	1 年前期	卒業 必修
給食管理校外実習	2年前期	栄養士、栄養教諭Ⅱ種免許 必修
応用栄養学実習	1年後期	栄養士、栄養教諭Ⅱ種免許 必修
臨床栄養学Ⅰ	1年後期	栄養士、栄養教諭Ⅱ種免許 必修
臨床栄養学Ⅱ	2年前期	栄養士、栄養教諭Ⅱ種免許 必修
栄養指導論実習	2年後期	栄養士、栄養教諭Ⅱ種免許 必修

以上の科目の補助を行っている。実習では、食材の発注作業や分配作業、補充を行っている。 学生の調理作業中に適宜机間指導を行い、調理のコツや調理の進め方のポイントを指導している。 講義では、資料の準備や環境整備等を行っている。

#### (2)その他

- ・1 年次クラスアドバイザー
- ・学生会館運営委員会 こぶし会館
- •入試広報委員会
- •学務委員会 学友会

#### 2.教育の理念

# (1)自分の教育理念・自分に求めること

私の教育理念は、「自分で考え行動できる学生の育成」と「学ぶことを楽しめる学生の育成」である。私は一般企業に4年、栄養士として病院での勤務1年弱、給食センターでの勤務を2年半ほど経験してきた。その中で感じたことは、仕事の意義・本質を考えることが大切だということである。目の前にある仕事や引継ぎをされた仕事をそのまま行うだけでは、本学科の教育目的である「対象者によりそった栄養の指導と給食の提供を実践できる栄養士」が育たないと考える。"対象者に寄り添った"栄養の指導を行うためには、学生のうちから自分で考える癖を身に付ける必要がある。また、栄養士が働く場所は今後さらに多岐に渡っていく。それと同時に、雇用形態も自分で選べる時代になると予想される。栄養指導が必要とされる場所に自らアプローチをしたり、在宅訪問や地域のイベントなど栄養士が活躍できる機会は増えていく。その時に、必要とされる知識を発揮できるように日々自己研鑽に努めなければならない。詰め込み教育では知識の習得にも限界があるため、楽しみながら学習することが大切だと学生に知ってもらいたい。

- (2)学生に求めること
- ・間違えても構わないので、自分なりの意見を持ち、伝える努力をする。
- ・実際に働いている時をイメージしながら授業に臨む。
- 分からないことをそのままにせず、「なぜ?」と疑問をもつように心がける。

## 3.教育の方法

- アカデミックスキルズ入門
  - →授業後に、質疑応答の時間を設けている。快適で充実した学生生活を送られるように、授業 以外の部分についてもアドバイスをしている。自分自身が本学学生だった頃を思い出し、勉 強の進め方や授業の臨み方を指導している。
- ·スタディスキルズ I
  - →「アカデミックスキルズ入門」終了後に実施予定
- •給食管理基礎実習
  - →多くの学生が初めて使用するであろう大量調理用の器具が多くある。機器の使い方や危険性を十分に理解し、スムーズに扱うことができるよう指導する。食材の効率の良い切り方を教え、時間までに食事を提供できるように逆算しながら作業を進めることが大切であると指導する。
- •給食管理校外実習
  - →夏休み期間中に実施予定
- •応用栄養学実習
  - →昨年は、食材の分配作業や調理中の机間指導、課題発表時のコメント等を行った。今年度は「もし自分がその対象者となり食べるなら?」と対象者の立場をより理解して調理を進められるように声掛けを行う。
- •栄養指導論実習
  - →2年次後期に実施予定

# 4.教育の成果

授業実施後に作成予定

### 5.今後の目標

- (1)短期的目標
- 楽しみながら学ぶ学生を増やす。
- ・栄養士の魅力を学生に発信し、栄養士として活躍したいと思う学生を育成する。
- (2)長期的目標
- ・自分自身でも教育理念を実施し続ける。(自分で考え行動する。楽しみながら学び続ける。)
- •学位取得